

BioAFMユーザー様、BioAFMをご検討中のお客様、測定技術にご興味のある方、これから携わりたい等々AFMにご興味のある方を対象としてブルカーBioAFMミーティングを実施します。今回初開催となるセミナーでは、ユーザー様による最新のご研究成果や、測定のための技術など、研究者の皆様役に役立つプログラムを企画しております。トークセッションでは、周りに相談できない様々な疑問やご質問等トピックスを募集しており、測定のヒントやコツ等々、普段の皆様のお悩みに答える機会となっております。皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

※トークセッションの準備として、事前に皆様からご質問を頂戴いたします。
事前の登録フォームのご記載にご協力ください。

◆ 開催概要3

日時：2024年11月12日（火） 13:30-17:30（13:00 受付開始）

会場：アットビジネスセンターPREMIUM新大阪（正面口駅前）911号室

（<https://abc-kaigishitsu.com/osaka/shinosaka/access.html>）

〒532-0011 大阪府大阪市淀川区西中島5-14-10新大阪トヨタビル9F

JR「新大阪」駅 正面口 徒歩3分、地下鉄 御堂筋線「新大阪」駅 南改札7番徒歩1分

定員：50名

費用：無料（事前登録制）

申込み：左登録サイトよりお申し込み下さい

登録フォーム▶

<https://www.bruker-nano.jp/bioafm2024>

▼登録フォーム



◆ プログラム

開始	終了	内容	講演者
13:30	13:35	開催のご挨拶	ブルカージャパン(株) ナノ表面計測事業部 統括部長 鈴木 大輔
13:35	14:05	『ナノ内視鏡AFMによる細胞内ナノ動態および力学計測』 原子間力顕微鏡(AFM)は、液中で生体分子や細胞表面のナノ動態を直接観察できる唯一無二の手法である。しかし、従来のAFMでは細胞内の構造を直接観察することは難しかった。近年我々は、細長いニードル状の探針を生きた細胞内部に挿入し、細胞内の動態や力学物性をナノレベルで計測できるナノ内視鏡AFM技術を開発した。本講演では、この技術の開発経緯や、原理を紹介した後で、その応用例を紹介する。	金沢大学 ナノ生命科学研究所 所長・教授 教授 福間 剛士 様
14:00	14:30	『植物細胞の力学物性を測る：道管細胞の分化と細胞弾性変化』 植物は乾燥する陸上に適応するため、水を確保するための構造を発達させた。維管束植物がもつ“道管”はその一つであり、その形成では、細胞を覆う固い細胞壁の形成と水を通す中空の管状構造となるための細胞死という、力学的に相反する細胞イベントを伴う。本講演では、細胞分化とともに変化する植物細胞の力学的物性変化を捉えるための原子間力顕微鏡(AFM)を利用した研究例についてエンドユーザーの立場から紹介したい。	奈良先端科学技術大学院大学 バイオサイエンス領域 助教 國枝 正 様
14:30	15:00	『マルチスケール力学計測とバイオロジーの接点』 講演者は、原子間力顕微鏡 (Atomic Force Microscopy: AFM) を用いて、生体分子から、細胞・組織にわたるマルチスケールの力学計測(引張試験・押し込み試験)を進めてきた。これまでの具体的な実践例を紹介するとともに、力学計測と生物学をより深くリンクさせるための考えや工夫についても共有し、参加者と議論を行いたい。	京都大学 医生物学研究所 助教 牧 功一郎 様
15:00	15:30	休憩 簡単なお茶とお菓子を用意しております。参加者の皆様での情報交換の機会としていただければ幸いです。	
15:30	15:45	『広視野・高精度を実現する顕微鏡イメージング』	株式会社エビデント ライフサイエンスリサーチ プロダクトマーケティング 出張雅敏 様
15:45	16:00	『ブルカーバイオAFM製品紹介とデモンストレーション』	ブルカージャパン(株) ナノ表面計測事業部 アプリケーション部 塚本 和己
16:00	16:15	休憩(トークセッション準備)	
16:15	17:15	トークセッション『みんなで話そうbioAFM』 AFMを用いた液中測定課題や期待をパネリストの方々とは意見交換できるプログラムです。パネリストとしての参加の希望・ご質問・ご相談を登録フォームより承っております。	パネリスト：講演者の皆様
17:30	19:00	懇親会	